

第6学年 道徳学習指導案

1組 計38人(男子23人,女子15人)
 指導者 中熊 信仁
 特別支援教育指導員 内 良子

1 主題名 **みんなの力で** (4-(1) 役割と責任の自覚)
 読み物資料「森の絵」(学習研究社6年)

2 主題について

(1) 内容項目とその系統

【高学年4-(1)】
 「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」

【中学校4-(1)】
 「自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。」

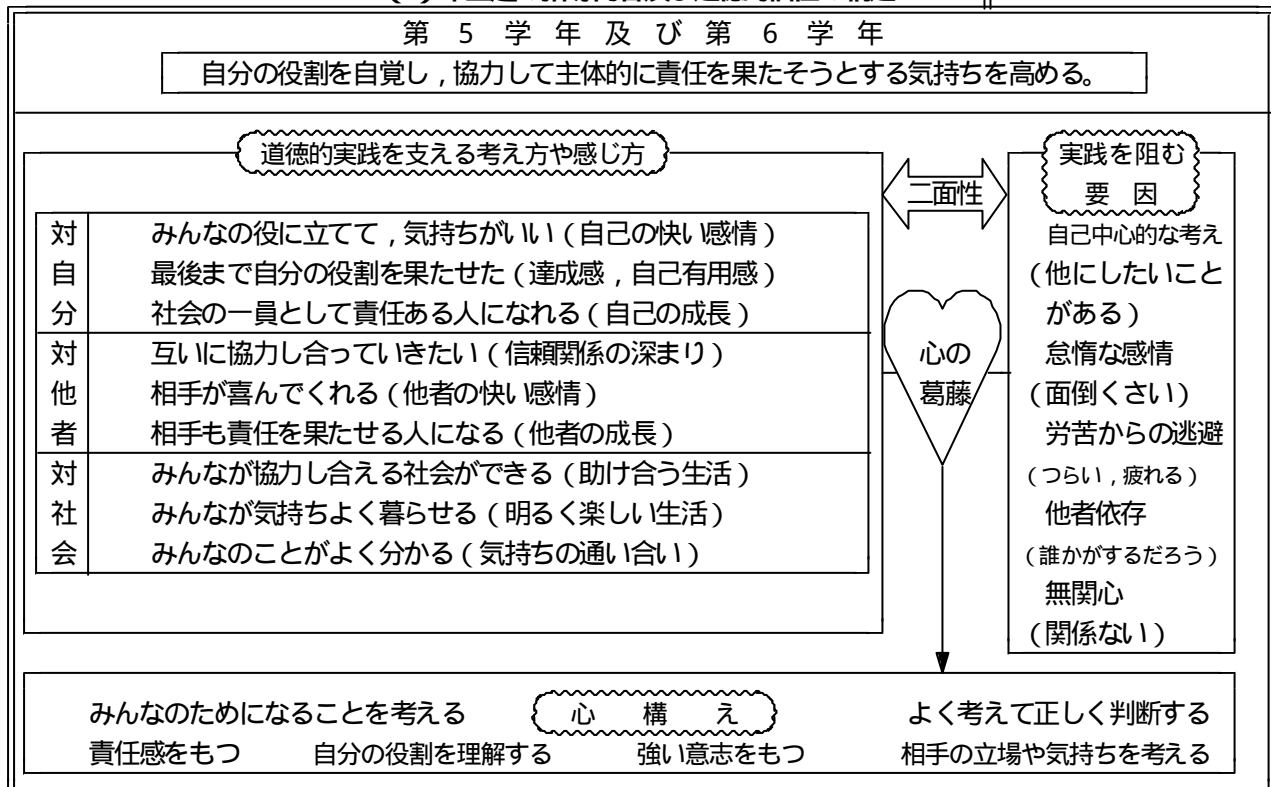
(2) 指導内容についての基本的な立場

「役割」とは割り当てられた役目のこと、「責任」とは人が引き受けてなすべき任務のことである。高学年における「役割と責任の自覚」とは、「身近な集団に主体的に参加し、それらを通して自分の役割と責任を自覚し、役に立つことを成し遂げることによって主体的に責任を果たそうとする」ことであり、よりよい集団生活を送る上で基本となるものである。

この期の子どもたちは、クラブ活動や委員会活動、学校行事など、校内の様々な活動において中心的役割を果たすことが期待される。また、自分の役割や責任に対する自覚が深まり、責任をもって行動したり、友達と協力したりできるようになる。しかし、やるべきことが分かっても、やる気が起こらずなかなか取り組めないこともある。また、自分の意に沿わないときには、活動の意欲をなくしたり、最後まで責任が果たせなかったりすることも見られる。

そこで、本主題では、自分がやりたいことだけをやるのではなく、集団の中での役割と責任を自覚し、どんな役割でもその役割が組織や社会集団を支えていることに気付くようにする。そして、与えられた役割に対して、主体的に責任を果たしてこそ、そこにいる楽しさや喜びを実感できることに気付くようにする。これらのことにより、集団の中で自分の立場や役割を自覚し、それらを主体的に果たそうとする態度を育てていくことをねらいとする。

(3) 本主題の指導内容及び道徳的価値の構造



(4) 資料について

【太枠は中心場面】

場 面	資料の登場人物がもつ「魅力」			
	道徳的实践を支える考え方や感じ方	実践を阻む心の弱さ	心の弱さを乗り越えた心地よさ	道徳的实践に対する思いや願い
学習発表会で自分がやりたい女王役を、めぐみに譲ってあげた主人公えり子。八月の精の役になり、また、係として道具係を選んだ。		ア ちょっといやだな... (共感、疑問) 「役割と責任の自覚」		
女王役になれなかったえり子は、怠けようとしているわけではないが仕事が投げやりになる。そんなえり子に、衣装係の文男が「だれかがやらないと劇にならないよ」と笑顔で言う	ウ 「ぼくがししゅう係だなんて、おどろいたよ。でも、だれかがやらないと、劇にならないじゃないか。」 「ぼく、もう少しやっていく。」 (憧憬・感動、共感) 「役割と責任の自覚、友情・信頼、助け合い」	イ えり子は、女王役になれなかったためか、どこか仕事が投げやりだった。 (共感、疑問) 「役割と責任の自覚」		
文男の言動やめぐみの頑張る姿から、えり子は改めて自分がこのままではいけないことに気づき、道具係の役割や責任を自覚しながら、発表会へ向けて努力し始める。	エ 次の日の朝、文男がししゅうをしているうしろすがが見えた。 昼休みに、めぐみは、劇で使う音楽の録音を放送室で手伝っていた。めぐみもがんばっているのだ。(憧憬・感動、共感) 「役割と責任の自覚、友情・信頼、助け合い」			オ まくが開いたら、みんながあつとおどろくようなすてきな森の絵をかこう。みんなで劇を成功させるのよ! (憧憬・感動、共感) 「役割と責任の自覚」

3 子どもの実態

(1) 資料の登場人物がもつ「魅力」に対する子どもたちの意識 (調査人数 38人 H19.9.14)

子どもたちの意識	資料の登場人物がもつ「魅力」				
	ア	イ	ウ	エ	オ
疑問(どうしてだろう)	3	4	6	0	0
共感(ああよく分かるな)	16	16	12	2	5
憧憬・感動(すごいな、そうなりたい)	0	0	20	0	11

【ア～オは、2-(4)資料についての表中記号と対応】

【考 察】

事前に資料を読ませて、登場人物がもつ「魅力」についてどのように感じているか調べたところ、主人公えり子が希望する女王役になれずに自分の仕事に投げやりになっている場面(イ)に、共感や疑問を感じている子どもが半数近くいることが分かった。また、えり子と同じ立場の文男が自分の役割を責任をもって果たそうとしている場面(ウ)に対しては、半数以上の子どもが感動し、3割の子どもが共感していることが分かった。ここでは、子どもたち自身が日常生活で、えり子のような気持ちになることがよくある一方で、文男のような言動をとりたいたいと感じている。また、それがよいとは思いつつも実際にはできないと感じているのではないかと思われる。

しかしながら、劇の完成に向けてめぐみや他の友達が頑張っている場面(エ)に共感している子どもがほとんどいないことが分かった。これは、文男の言葉には感動や共感を感じているものの、他にも頑張っている周りの友達の姿には十分気付いていないからではないかと思われる。子どもたちの学校生活においても、直接かかわっていない友達の頑張りに対して、目を向けていないことがよく見られる。よって、本時において、集団の中でそれぞれが役割をもち責任を果たすことで、集団が支えられていることに気付かせるような手だてを取り入れていく必要がある。

(2) 本主題に関する子どもの実態 (調査人数 38人 重複あり H19.9.14)

(ア) 本主題に関する経験場面

責任をもって最後までやり遂げた経験	人数
・ みんなで最後まで頑張った (運動会、学習発表会、修学旅行など)	22
・ スポーツなど個人で責任をもってやり遂げた	11
・ 委員会や係などすべき仕事を頑張った	4
・ 先生から頼まれた手伝いを頑張った	1

(イ) 本主題に関する経験の理由

責任をもって最後までやり遂げた理由	人数
・ みんなで協力して頑張ったから	12
・ 自分が頑張ったから	8
・ よくしたいという強い気持ちから	6
・ 責任感があったから	5
・ 友達や先生の励ましがあったから	5
・ 友達も頑張っていたから	3
・ その他	6

(ウ) 本主題に関する経験場面		(エ) 本主題に関する経験の理由	
責任をもって最後までやり遂げなかった経験	人数	責任をもって最後までやり遂げなかった理由	人数
・ 委員会や係の仕事	20	・ 面倒だった、やる気がなかったから	13
・ 清掃	4	・ 遊びなど他を優先したから	12
・ 宿題	3	・ 他の人もしていなかったから	3
・ グループ活動	2	・ 自分本位だったから	3
・ みんなで遊ぶ日に遊ばなかった	2	・ 恥ずかしかったから	3
・ その他	7	・ その他	6

(オ) 道徳的価値の意義		(カ) 道徳的価値に対する心構え	
責任をもって最後までやり遂げることはなぜ大切か	人数	責任をもって最後までやり遂げるための心構え	人数
・ 友情が深まるから	12	・ 頑張るぞという強い気持ちをもつ	14
・ 協力することは大切だから	8	・ 相手や周りの人のことを考える	10
・ 自分のためになるから	8	・ 後の達成感を想像する	7
・ 達成感があるから	7	・ 責任感をもつ	7
・ 他人の迷惑になるから	6	・ よく話を聞いて素直に行動する	3
・ チームワークをよくするから	4	・ 助け合って協力する	2
・ その他	8	・ その他	4

【考察】

ほとんどの子どもたちは、自分の役割を責任をもって最後までやり遂げた経験をもっている。その理由として、「みんなで協力して頑張ったから」が一番多く、次いで、「自分が頑張ったから」「強い意志や責任感から」といった自分自身にかかわるものが多いことが分かった。また、委員会や係、清掃活動などで、自分の役割を責任をもって最後までやり遂げなかった経験もほとんどの子どもがもっている。その理由としては、「面倒だったから」「遊びなどを優先したから」などという怠惰な感情や自己中心的な考えによるものがほとんどであった。また、「他の人もしていなかったから」「恥ずかしかったから」というように、安易に周りに流されたり、周りの目を気にしたりしている子どもも見られた。

責任をもって最後までやり遂げることの意義については、「友情が深まるから」「他人の迷惑になるから」という友達との信頼関係にかかわることが多く、次いで、「自分のためになるから」「達成感があるから」という自己にかかわることを多く理由に挙げていた。責任をもって最後までやり遂げるための心構えについては、多様な考えが挙げられていたため、本時ではそれらを友達と更に深めたり広げたりできるようにしたい。

4 本時

(1) 目標

自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする心情を高める。

(2) 指導に当たって(研究の視点との関連)

以上のような子どもの実態や主題のねらいを踏まえ、次のようなことに配慮して指導していきたい。

- 事前の実態調査において、劇の完成に向けてめぐみや他の友達が頑張っている場面に共感している子どもが少ないことから、えり子が心を動かされた理由や、その時の心情をじっくりと考えることで、資料の登場人物がもつ「魅力」と豊かにかかわることができるようにするとともに、道徳的実践を支える考え方や感じ方を広げることができるようにする。




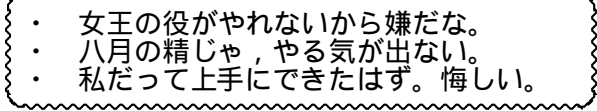
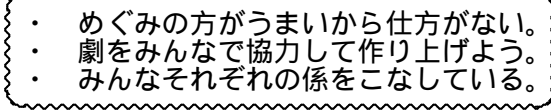

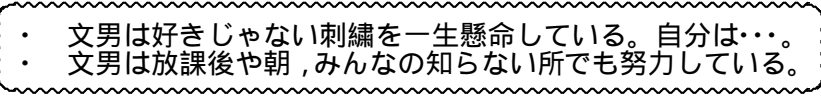
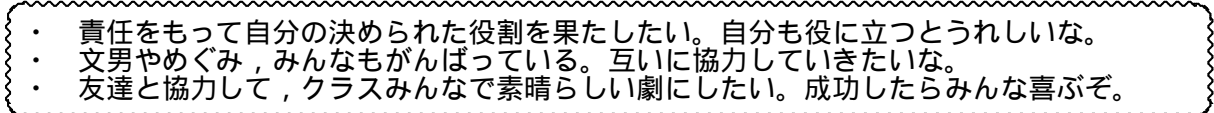


【視点1 - ア - (ウ) 1単位時間の授業設計】

- 道具係の仕事が投げやりになっているえり子の気持ちを、心情分布図に表すことで、子どもたちが自分自身と重ね合わせて考えることができるようにする。また、その心情分布図を見ながら話し合うことで、友達の多様な考えに気付くことができるようにし、友達がもつ「魅力」に豊かにかかわることができるようにする。

【視点1 - イ - (イ) 話し合い活動を充実させる教具の工夫】

- 「深める」過程において、本時を振り返って大切な気持ちや心構えについて書き、実態調査の時の考えと比べたり、気付いたことを話し合ったりすることで、道徳的価値に対する見方や考え、感じ方について、広がりや深まりをもつことができるようにするとともに、自分がもつ「魅力」の高まりを感じるできるようにする。

【視点1 - ウ - (イ) これまでの自分を振り返る書く活動の工夫】

過程	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
(分) 気 付 く (5)	<p>1 最後まで自分の役割を果たせた経験や、途中でやめてしまった経験について話し合う。</p> <p> これまでの生活の中で、自分のやるべきことを最後までやり遂げたことがありますか。また、自分のやるべきことを最後までやり遂げられなかったことがありますか。</p> <p> 運動会の組体操では、痛くても我慢した。人に迷惑がかかるし、みんなで協力して作り上げようとしたからだよ。</p> <p> 決められた委員会の仕事をきちんとしなかったことがあった。早く遊びたかったし、他の人もきちんとしていなかったからだよ。</p> <p>自分の役割を積極的に果たしていくためには、どんな気持ちや考えが大切だろう。</p>	<p>2 なりたかった女王役を譲って、道具係をするえり子の心情を、心情分布図を用いて考えることで、自分自身と重ね合わせて、共感的に理解できるようにする。また、その心情分布図を見ながら、意図的に指名し話し合うことで、えり子の迷いに気付くようにするとともに、友達の多様な考え方に触れ、友達もつ「魅力」に豊かにかかわることができるようにする。</p> <p>心情分布図を用いる際、自分の名前カードをどこにはるか迷っている子どもに、指導員が個別に声かけをすることで、全員が自分の考えをもつことができるようにする。</p>
見 つ め る (25)	<p>2 資料「森の絵」を読み、主人公の心情を中心に話し合う。</p> <p>(1) 感想を発表し合う。</p> <p>(2) 女王の役を譲ったえり子の気持ちについて話し合う。</p> <p> ・女王の役がやれないから嫌だな。 ・八月の精じゃ、やる気が出ない。 ・私だって上手にできたはず。悔しい。</p> <p> ・めぐみの方がうまいから仕方がない。 ・劇をみんなで協力して作り上げよう。 ・みんなそれぞれの係をこなしている。</p> <p>(3) 文男の言葉が気になるえり子の気持ちについて話し合う。</p> <p> えり子は どうして文男の言葉が気になったのだろう。</p> <p> ・文男は好きじゃない刺繍を一生懸命している。自分は・・・。 ・文男は放課後や朝、みんなの知らない所でも努力している。</p> <p>(4) えり子がポスターカラーをのびのびと皿にとき始めたのはどんな気持ちや考えからなのか話し合う。</p> <p> ・責任をもって自分の決められた役割を果たしたい。自分も役に立つとうれしいな。 ・文男やめぐみ、みんなもがんばっている。互いに協力していきたいな。 ・友達と協力して、クラスみんなで素晴らしい劇にしたい。成功したらみんな喜ぶぞ。</p>	<p>1 仕事が投げやりだったえり子が心を動かされた理由や、その時の心情などをじっくり考えることで、文男の言動だけでなく、周りの友達の頑張っている姿にも気付くことができるようにし、道徳的実践を支える考え方や感じ方を広げることができるようにする。</p> <p>3 「深める」過程において、本時の学習やこれまでの経験を振り返って、大切な気持ちや心構えについて書き、事前の実態調査の時の自分の考えと比べたり、気付いたことを話し合ったりすることで、道徳的価値に対する考え方などについて、より深く考えるとともに、自分もつ「魅力」の高まりを感じることができるようにする。</p>
深 め る (10) 高 め る (5)	<p>3 今までの自分を振り返り、自分の役割を積極的に果たすためには、どのような気持ちや心構えが大切なのか、話し合う。</p> <p> これまでの経験や今日の学習から、自分がこれまでに足りなかった気持ちや心構えについて、考えたことを発表しよう。</p> <p> これまでは、委員会の仕事などを、やらなければという義務感で責任を果たしていることが多かったが、自分から進んでやることで、楽しさや喜びを感じることができるといった。</p> <p>4 子どもたちが自分の役割を果たしている写真や映像を見る。</p>	<p>自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする心情を高めることができたか。 【発言、観察、ワークシート】</p> <p>自分の役割を自覚し、積極的にその責任を果たしている様子を想起できるようにし、更に実践意欲を高めることができるようにする。</p>